

脱プラスチックに関するガイドライン

2021年11月10日

一般社団法人 日本ゴルフ用品協会
製造渉外委員会

持続可能な開発目標（SDGs）の中で、特に気候変動対策や省資源といった環境分野への取り組みが世界的にクローズアップされています。

自然環境と共にあるゴルフ業界においては、サステナビリティが重要課題となっていますが、企業単独では対応しづらい課題でもあります。つきましてはJGGAとして、ゴルフ業界のみならず社会全体への活動に推進させるために、以下の「脱プラスチックガイドライン」を作成しました。

今回まずは比較的対応しやすい梱包資材からのスタートになりますが、今後対象アイテムを増やしていきたいと考えています。

また、今回の協力依頼はJGGA会員企業様への発信のみですが、今後は業界全体への周知を図りこの活動の場を広げてゆきたいと考えております。

JGGA会員企業の皆様におかれましては、この趣旨をご理解いただき、ご協力いただけます様よろしくお願い致します。

下記にガイドラインを記します。傷及び汚れ防止を徹底した上で対応をお願い致します。

1. 使用廃止を目標とするアイテムと対応案

- ・シャフト袋（クラブ用）：第一段階として国内生産分の流通分を対象とし基本廃止
- ・シャフト袋（シャフト単体用）：廃止困難ゆえ、バイオプラスチック素材等による代替検討
- ・ヘッドエアキャップ：
ウッド系とパターは①②③いずれかの対策を盛り込む、④は検討項目
 - ① ヘッドカバーで代用
 - ② 箱の内部構造変更
 - ③ 紙素材への変更
 - ④ バイオプラスチック素材による代替検討
- アイアンは下記①②いずれかの対策を盛り込む、③は検討項目
 - ① ヘッド保護のための仕切のある箱に変更
 - ② 紙素材への変更
 - ③ バイオプラスチック素材による代替検討
- ・ヘッドカバー袋：基本廃止 汚れ及び色移り防止対策が必要な場合は、紙・不織布

等で代用、もしくはバイオプラスチック素材（検討項目）で代用
ヘッドカバー単独で JAN コード管理を行っている場合は、袋にシールを貼るの
ではなく、タグをつけるなど別の方法で対応

- ・ボール窓部フィルム：基本廃止
- ・グローブ窓部フィルム：窓部削除
- ・キャディバッグアンコ用エアパック：段ボールや紙で代用

2. 対応計画

2022 年以降の新製品より対応を順次開始します。

今後追加できる対象アイテムの検討を進めます。

第一段階では国内流通のみを対象としたアイテムもありますが、対象範囲を拡げてい
きます。

これらの活動により 2025 年までに大幅な削減を目指します。

以上